

氏名	山本 英子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士（保健学）				
学歴	2006年群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本新生児看護学会、日本小児保健協会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、千葉看護学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2020年版 系統別看護師国家試験問題集（第108回看護師国家試験 解答と解説）	共著	あり	医学書院；P.1761	大月恵理子、青木きよこ、 <u>山本英子</u> 、他86名	2019.4
2	新訂第5版マタニティアセスメントガイド	共著	あり	真興交易(株)医書出版部；P.356	吉沢豊予子、鈴木幸子、中村康香、工藤里香、 <u>山本英子</u>	2019.10
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	妊婦における身体活動の行動変容とその特徴－助産師2名の事例分析－	単独		第34回日本助産学会学術集会、新潟市（web）	○山本英子	2020.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			運動行動変容ステージを基盤とした妊婦の身体活動を促進する看護介入の開発	研究代表者	2018.4～2021.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	母性看護学Ⅱ		1	女性のライフサイクル各期における身体活動の課題と支援について、具体的な方法例をあげて説明した。		
2	母性看護学Ⅲ	○	9	視聴覚教材等を用いて、産褥期・育児期および新生児期にある対象者（母子・家族）のイメージ化や理解が深まるように講義を行った。また、講義と演習、実習の連続性を意識した授業構成とした。		
3	周産期のケア		1	母乳育児支援について、解剖生理、ガイドライン、研究結果、臨床の実際等も含め、エモーショナルサポートを理解できるよう講義を行った。		
4	分娩期のケア		4	助産師としてのキャリアデザインを意識し、診断・ケア技術能力が向上するよう講義を行った。ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含め講義を行った。自己学習用に作成したe-learning教材を活用した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	母性看護学Ⅲ	○	8	看護過程について、自己学習やグループ討議を深められるように、支援した。また、各グループ間での情報共有により母性看護学領域における看護過程の展開への理解が深められるよう意図した。
2	周産期のケア		3	学生が模擬妊婦となり妊娠期の運動を実体験することで、具体的な運動内容・強度、留意点、運動による快感情等の理解を促すよう支援した。妊娠健康診査や保健教育ではロールプレイを活用し、対象理解や対象者(妊婦)からの視点でも助産ケアを考察できるよう意図した。
3	分娩期のケア		22	診断・ケア技術、コミュニケーション、チームワーク、評価(リフレクション)の能力が向上するよう演習を行った。実習室の開放、指導担当教員の配置、自己学習用DVD作成を行い、自己練習・学習の環境を整えた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	母性看護学実習		2019.5～2019.6	3年次生を対象に、産科病棟において実習指導を行った。産褥期・新生児期の変化、母乳育児支援、母子相互作用・愛着形成、退院後の生活について、とくに理解が深まるよう支援した。
2	総合実習		2019.7	産科外来・病棟にて、4年次生4名の実習指導を行った。妊娠期から産褥期の継続性を意識し、個別性の高い看護の実践を支援した。
3	助産学実習Ⅱ	○	2019.8～2019.11	産科病棟2施設(新規施設含)にて、4年次生助産系学生3名の実習指導を行った。入院の判断から分娩介助まで実施し、継続性と個別性の視点をもてるよう支援した。また、NICU実習全般について、調整を行った。
4	IPW実習		2019.10.	新規施設で、4年次生5名の施設担当・教員ファシリテータとして、学生が積極的な参加、活発な討議、効果的なリフレクションができるよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019.3～2020.1	主指導	4名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	助産学校 非常勤講師	晃陽看護栄養専門学校	助産診断・技術学(分娩期・新生児期アセスメントと看護)	2019.4
2	ベビーマッサージ	越谷市児童館 ヒマワリ	ベビーマッサージ&エクササイズ ～親子で楽しくスキンシップ～	2019.6 2019.10
3	専門職公開講座(埼玉県立大学)	母性看護学・助産学教室	産科看護職のための学習会 「精神疾患のある妊産婦への支援」	2019.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 日本母性看護学会	選挙管理委員		2019.2～現在
2	越谷市男女共同参画推進委員会	委員(2019.7～会長)		2017.7～現在
3	埼玉県立春日部女子高等学校	学校評議員		2018.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携推進部会 (IPW総合課程：IPW実習担当、地域窓口：さいたま・県央)	2019.4～現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携基礎研修担当	2019.11
3	学科等における委員会等	総合実習科目担当	2018.4～2020.3
4	学科等における委員会等	国家試験対策プロジェクトメンバー	2019.4～現在
5	大学広報活動	オープンキャンパス(実習室担当)	2019.8
6	該当なし	ソフトボールサークルWSSC顧問	2016.4～現在
6	該当なし	看護学科1年次生担任	2019.4～現在
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		